

うと市議会だより



編集／議会だより編集委員会

発行／宇土市議会 平成22年8月15日発行

宇土市浦田町51番地

TEL 0964-22-1111 FAX 0964-22-6313

<http://www.city.uto.kumamoto.jp>



高校生のための赤ちゃんとのふれあい体験

7月2日～9日、思春期教育の一環として、宇土高校1年生と赤ちゃんとのふれあい体験が行われました。

CONTENTS

- P2 平成22年第1回臨時会
- P3～4 平成22年第2回定例会
- P5 代表質問
- P6～12 一般質問
- P13～14 委員会報告
- P15～16 議案・請願等の議決結果
- P16 平成22年第3回定例会会期日程

平成22年 第1回臨時会

第1回市議会臨時会を5月21日に開催しました。

これは、前議長が市長選挙に立候補届出をされたことに伴い、市議会議員を自動失職となり、空席となっている議長を選出するために開催したもので、選挙の結果、新議長に西山誠一議員が選出されました。



西山誠一

議長就任あいさつ

市民の皆様には、日頃より市議会に對しまして深いご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

このたび、五月二十一日に開かれました市議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙により議長に就任いたしました。私にとりましては、誠に身に余る光栄に存じますとともに、その職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いであり、市民の皆様

の信頼と期待に応えられるよう、より一層の市政の発展と円滑な議会運営に全力で取り組んでいく所存であります。

また、郷土宇土市をより元気で魅力ある宇土市にしていくためにも、私たち市議会議員は、市民の皆様

市議会議員表彰

6月15日、第2回市議会定例会開会日冒頭に本会議場で、表彰状の伝達が行われました。内容は、5月26日、東京の日比谷公会堂で開催されました第86回全国市議会議長会定期総会の席上におきまして、全国市議会議長会会長から上村雄二郎議員が市議会議員として在職10年の表彰状を授与されたものです。

平成22年 第2回定例会

第2回定例会を6月15日から6月30日まで16日間の会期で開催しました。市長提出議案として、平成22年度一般会計補正予算(第1号)など予算関係5件、宇土市長等の給料の特例に関する条例など条例関係10件、宇土市副市長の選任など人事案件3件、専決処分の報告及び承認関係9件、その他6件、議員提出議案として、改正国籍法に関する意見書の1件が上程され、いずれも原案のとおり決定しました。

なお、議案の主な内容は下記のとおりです。

専決処分

◆宇土市税条例の一部を改正する条例について

地方税法の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。

【主な内容】

(一) 個人住民税の扶養控除の見直し
対象者・16歳未満の扶養親族に係る扶養控除(33万円)を廃止。

16歳以上19歳未満の特定扶養親族に係る扶養控除の上乗せ部分(12万円)を廃止し、扶養控除の額を33万円とする。

平成24年度分以後の個人住民税について適用する。

(二) 地方たばこ税の税率の引上げ
(平成22年10月1日から適用)

市たばこ税

千本につき 3,298円→4,618円

合計(道府県たばこ税含)

千本につき 4,372円→6,122円

◆宇土市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

地方税法の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。

【主な内容】

(一) 基礎課税額に係る課税限度額について、47万円から50万円、後期高

条例

◆宇土市長等の給料の特例に関する条例について

宇土市長、副市長及び教育長の給料について、平成22年7月から市長について100分の20、副市長については100分の10、教育長についても100分の10を減じるもの。

【給料の減額】

市長

811,000円→648,800円

副市長

641,000円→576,900円

教育長

567,000円→510,300円

◆宇土市長等の退職手当の特例に関する条例について

宇土市長、副市長及び教育長の退職手当について、平成22年7月から市長について100分の30、副市長については

100分の20、教育長についても100分の20を減じるもの。

【退職金の減額】

市長

16,349,760円→11,444,832円

副市長

7,999,680円→6,399,744円

教育長

4,082,400円→3,265,920円

◆宇土市父子手当支給条例を廃止する条例について

児童扶養手当法の一部が改正され、母子家庭に対してのみ支給されていた児童扶養手当が父子家庭にも支給されるのに伴い、母子家庭との均衡を図るため、条例を廃止するもの。

◆史跡宇土城跡保存整備検討委員会設置条例について

歴史的展開に重要な位置を占める中世の城郭である宇土城跡の保存整備について、専門的見地から意見を求めるため史跡宇土城跡保存整備検討委員会を設置するもの。

【主な内容】

・所掌事務

・任期

・その他

・附則

特別職の職員で非常勤のもの

代表質問

の報酬及び費用弁償に関する
条例の一部改正により、報酬
額を日額10,000円と定
める。



中世宇土城跡（復元した城門と木柵）

人 事

◆宇土市副市長の選任について

池田 信夫（任期4年）
副市長に前市総務企画部長の池田信
夫氏が選任同意されました。



そ の 他

◆あらたに生じた土地の確認について
網田漁港区域内の公有水面の埋め立
てに伴う用地について、市の区域内に
あらたに生じた土地であることを確認
するため、議会の議決を求めるもの。
・土地 戸口町字外平707番地先ほか5
筆の公有水面埋立地
・面積 10,163.86㎡

予 算

◆平成22年度宇土市公共下水道事業特
別会計補正予算（第1号）について
歳入歳出それぞれ9,100万円を
増額し、総額を9億3,675万4千
円とする。補正の主な内容は、污水管
敷設工事及び公共枹設置工事費などを
補正するもの。
◆平成22年度宇土市漁業集落排水施設
整備事業特別会計補正予算（第1号）
について
歳入歳出それぞれ4,900万円を
増額し、総額を7,775万1千円と
する。補正の主な内容は、管路敷設工
事費を補正するもの。

◆平成 22 年度宇土市一般会計補正予算（第 1 号）

歳入歳出それぞれ7億4,239万2千円を増額し、総額を134億3,139万2千円とする。

費 目 （歳出概要）	補正額 （千円）	歳出の主なもの
総 務 費	28,416	地上デジタル放送難視聴地域解消事業補助金、戸籍管理システム更新 経費
民 生 費	100,533	社会福祉協議会経費、シルバー人材センター経費、介護基盤緊急整備 特別対策事業補助費
衛 生 費	55,089	浄化槽設置事業経費、水道事業経営支援補助金
農林水産業費	214,423	適正化事業経費、担い手育成総合支援協議会経費、水産業振興一般経 費
商 工 費	20,117	宇土市 PR 専門スタッフ設置経費、地蔵まつり実行委員会補助金
土 木 費	227,646	道路維持経費、臨時河川等整備事業経費、準用河川改修事業経費、宇 土駅周辺地区整備事業費
消 防 費	14,479	消防協会宇土支部補助金
教 育 費	81,689	コミュニティ助成事業、花園公民館調査・設計委託料

10のチェンジマネジメントについて



（愛市同友会）
野添正利 議員

トップダウンから市民 による政治について

野添議員 陳情や要望等について、原
則として内容を公開し、優先順位を付
けて公表するとしているが、具体的
な実施方法は。

元松市長 行政の透明性を高めるため、
陳情や要望等を原則公開し、その次の
段階として、緊急性や重要度等を考慮
し、実施の優先度を公表できるよう検
討する。

市民のための市役所改 革について

野添議員 組織再編を行い、市民サー
ビスの向上に取り組んでいくための具
体策は。

元松市長 来春、第一段階の組織再編
を予定している。市民サービスの向上
については、一例として、郵便局との
連携が挙げられるが、高齢者の見守り
など、可能な分野から連携を図りたい。

行財政改革の断行について



まちづくり座談会

野添議員 市の正規職員を今後5年間
で5%削減するという考えについて。
元松市長 職員削減は、財政健全化の
一つとして取り組むものであるが、住
民サービスの低下につながるという、
正規職員の事務補助を行う非常勤職員
の任用や研修等の実施による正規職員
の資質向上に努めて行く。

新住民活動サポートシ ステム構築について

野添議員 地域コミュニティの再生に
対する交流事業への助成制度の新たな
構築について。

元松市長 地域内において自主的に取
り組まれる新たな祭りやイベントに対
する助成、地域住民の「いいこの場」
的な広場や公園などの整備に対する助
成などを考えている。

実効ある商店街・地域 経済対策について

野添議員 多目的屋外ステージの設置
目的は何か。空店舗を利用した地元産
品を取り扱う直売所を公費で設置する
考え方について。

元松市長 イベント等の開催を活性化
し、最終的に周辺商店街への経済効果
を狙うことが最大の目的。直売所のよ
うな交流施設とは、地元の農水産物だ
けでなく、加工品や土産物などの地元
産品の販売に加え、観光情報などを発
信し、市民が気軽に交流できる場所と
して考えており、費用対効果は十分あ
ると考えている。

元気のでる農林水産業 の振興について

野添議員 農業や漁業経営者のための
アドバイザー制度導入の新たな取り組
みとは。

元松市長 農林水産業従事者に対して
経営アドバイザーを行う人員を配置し、
支援を行うという取り組みである。

教育文化の環境整備について

野添議員 奨学金制度を拡充し、大学
生や専門学校生に対して奨学金を支給
することだが、その原資について
どう考えているか。

元松市長 財源の問題をはじめ、対象
人数、対象者の選定基準等いくつかの
課題があるので、今年度中に調査研究
を行い、可能な限り早い段階で実施

したい。

子育て支援の充実について

野添議員 認可外保育園に入園させる
場合の費用の一部を助成する制度とは。
元松市長 認可保育所に入れないため
認可外保育所などを利用する場合の費
用の一部を助成する制度であり、助成
額を含めた制度の詳細については、市
の保育料との兼ね合いや他市の助成状
況などを研究しながら検討する。

高齢者も安心の福祉社会について

野添議員 交通弱者に対するコミュニ
ティバスや乗合タクシーの運行につい
て検討していくとのことであるが、具
体策は。

元松市長 公共交通未整備地区へのコ
ミュニティバスや乗合タクシーなどの
導入に向け、実情にあった公共交通体
系の構築に取り組んでいきたい。

人ごやう環境（環境）

野添議員 人口5万人都市を目指すこ
とであるが、新規に転入してきた
人には市民税を減額するとの考えであ
るが、税の公正公平が保たれるのか。
元松市長 企業誘致と同じ考え方で、
一人でも納税者が増えることで税収が
増加に繋がるのであれば、何らかの優
遇措置を講じたい。税の収納段階での
減税は法的に難しいため、収納後に相
当額を助成するという手法を検討した
い。



宇土マリーナ物産館「おこしき館」

地産地消への取り組みを

地産地消対策について

田代議員 これまでの取り組み状況と評価方法について。
山内総務企画部長 平成17年度より事務事業について、一次評価を担当課、二次評価を企画課・財政課が行い、方針転換が生じる主要事業は、庁内の事務事業評価審査会に諮る形で実施している。
田代議員 評価結果の周知方法は。
山内総務企画部長 市ホームページと情報コーナーを通じて公表している。今後は、市民にわかりやすい方法で周知に努めていく。
田代議員 行政評価の市民参加について見解を伺いたい。
元松市長 市民参加を基本に進めていきたいと考えている。

行政システムについて



(誠志会)
田代厚志 議員

小中一貫教育の導入について

田代議員 地産地消推進計画の策定状況について。
下田経済部長 平成20年11月に庁内の関係各課長に係長クラスで組織するプロジェクトチームを編成、5回の検討会議で審議、生産者を対象にアンケートを実施し、計画(案)を取り纏め、関係部課長で構成の地産地消推進計画策定委員会承認、3月に市長決裁を受け「宇土市地産地消推進計画」を策定した。
田代議員 「推進計画」の今後の進め方と議会議員連盟の提言の直売所建設と空店舗の利活用は計画に反映されているか。
下田経済部長 直売所、朝市、学校給食への地場産物の安定供給を通じ、生産者と市民の顔が見える関係づくりを進めると共に、生産者や卸小売業、関係団体等との連携を深めるといふ表現で計画に反映させている。

宇土市のビジョンについて

田代議員 市全体として、どのような計画を考えているか。
木下教育長 小中教師の校内研修、研究授業への相互乗り入れ、小学校から中学校へのなめらかな接続のための学習指導方法の工夫改善、児童生徒の情報交換等について十分審議を重ねる中で、各中学校区の特徴や実態を踏まえて小中一貫、小中連携教育の方向性を見出していききたいと考えている。
田代議員 少子高齢化、人口減少の地域環境の中で、今後どのようなまちづくりを進めていくのか。
元松市長 市の将来的なビジョンとして、労働者の増加を図り、人口5万都市の実現を目指したい。宇土市は、熊本市のベッタウン化を進める部分が大きいと考え、市が持っている魅力をもっとPRし、また、市への転入を促す政策に取り組むことで、人口増に転じると考えている。



市庁舎

真の「自治体経営」をめざして

「提案型公共サービス改善制度」による官民協働の行政運営を!



(新世紀クラブ)
西山宗孝 議員

研究したい。

定住交流・人口増加策には、土地利用の促進とバランスのとれた拠点づくりを!

西山(宗)議員 提案型改善制度は従来の行政サービスを可能な限り、民間へお願いすることにより、効率化やコスト削減を進めるものである。「自治体の経営」も抜本的に見直す時代となったが、本市の考えは。
山内総務企画部長 少子高齢化は更に進み、財政運営も厳しくなる一方である。人件費等の削減は大きな課題であり、指定管理者制度、PFIのほか公共サービスのアウトソーシング(外部委託)の検討、民間の人材活用など「官民協働」を進めたい。
 ご提案の官民の役割の見直し、連携、市場化テストを始めとした「提案型公共サービス改善」等について前向きに調査

西山(宗)議員 将来人口5万人を目指す宇土市として、遅れている土地利用を促進させ、地域でバランスのとれた拠点づくりなどの都市政策を強化する必要がある。特に住宅地の大規模開発や、併せて住宅展示場の誘致などによる定住促進が待たれるが。
山内総務企画部長 本年より新総合計画策定にかかるが、市内7校区毎にまちづくり座談会を開催する。地域の声を最大限に活かした県南の新拠点としての駅周辺の整備のほか、地域地区の拠点づくりについても検討を行い、総合計画に盛り込んでいく。このことが人口増加につながると考えている。

西部・網田地区の活性化は急務、具体的な青写真と実施計画を!

西山(宗)議員 合併時8千人を超えた網田地区の人口は、現在3千8百人、高齢化率37.3%で人口減少は著しい。一次産業などの就業減少など原因は様々、今は農水産業の経営について専門家の支援や、小中一貫などの教育力を強化、地域の拠点づくりなどによって、活性化の道は開けると思われるが、具体的な青写真を描き、5年後、10年後に希望もてる計画を進めるべきでは。
元松市長 西部・網田地区については、このまま何もしなければ地域の活力が低下すると認識している。住民の皆様の意見を聞き、総合計画に反映させ、早急に対応していきたい。

西山(宗)議員 従来の総花的な計画にならないよう、しっかりとした計画のもとに行政が責任を持って「実行計画」を策定していただきたい。



ブックスタート事業

読書の素晴らしさを子ども達へ伝えよう

芥川議員 ①学校図書館図書標準値の達成について。②古くなった図書の更新について。③児童生徒からの図書のリクエストについて。④学校図書館職員の資質の向上について。

高木教育部長 ①本市の全小中学校において、達成している。②今後とも計画的に図書の更新を行い、充実を図っていく。③リクエスト用紙を置き、児童生徒に適応した本の購入や市立図書館からの借り受けで対応している。④年数回、各図書館司書部会等の研修に派遣。今後も出席し、職員の資質向上を図っていく。

芥川議員 赤ちゃんに絵本を贈る「ブックスタート事業」の取り組みの成果について。

高木教育部長 成果としては、乳幼児の図書カード登録数は、17年度の401名から21年度

子どもの読書環境の推進について



(公明党)
芥川幸子 議員

969名で40.7%まで増加。図書館から本を借りた人の割合も、19.3%まで増加している。今後も「ブックスタート事業」を継続し、子育てを支援していく。

芥川議員 小中学校の新生入生に対し、入学記念として児童生徒に本を贈る「セカンドブック」「サードブック」事業の実施について。

高木教育部長 現在、取り組み予定はない。

芥川議員 発達障がいのある児童生徒のための「デイジー教科書」の提供について。

高木教育部長 特別支援教育の指導方法については、研究を進めていきたい。

資源ごみの分別収集について

芥川議員 スプレー缶、カセットコンロ用ガスボンベの回収方法について。

少子化対策について

芥川議員 65歳以上の高齢者が、介護ボランティア活動を行った場合、ポイントが付き、そのポイントで介護保険料の軽減や金券に替えることができる制度の導入は考えているか。

中田健康福祉部長 介護予防サポーターによる事業を行っているが、介護施設等でのボランティア活動へ拡充できるか検討していく。

芥川議員 行政文書に「音声コード」を添付して、視覚障がい者へ情報提供できないか。

中田健康福祉部長 今年度策定予定の市総合計画に反映できるよう努力していく。

芥川議員 「不育症」治療、ひぶワクチン・子宮頸がん予防ワクチン接種に公費助成を。

元松市長 「不育症」治療は「不妊治療」と併せて検討していきたい。他も更に検討する。

介護支援について

益田市民環境部長 専用回収ボックスの設置を含め、関係者と協議しながら検討していく。



うと地蔵まつり「造りもん」

チェンジ宇土！宇土市再生

市民に開かれた市政



(無所属)
上村雄二郎 議員

上村議員 「トップダウンから市民による市政の実現。具体的には、委員会や審議会の委員は、出来る限り公募による選任を増やしたい。」と市長は施政方針で述べられたが、まだ市長の思いを理解していない幹部職員がいる。どのくらいの決意で実行しようと考えているのか。

元松市長 審議会等の現状をみると、各種団体の長が多く、委員を兼ねており、市の問題点や政策等について広く意見をいただくという審議会の本来の目的を考えると好ましくない。多く

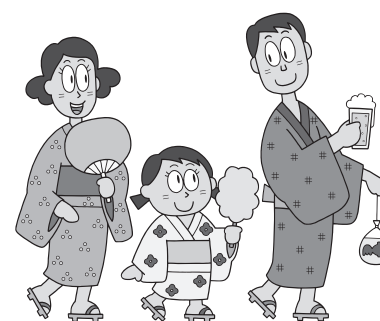
うと地蔵まつりを中心とした地域再生

上村議員 毎年十万人を超す人出でにぎわう、「地蔵まつり」を、歴史・文化的に再考し、また経済効果を分析するとともに、宇

の方々には審議会に参加いただくことは、行政の透明化を進めることにも繋がるので、積極的に推進したい。現在、各種審議会の公募の可否について調査している段階であり、今後、公募を増やしていく方向で取り組みたい。また、公募による審議会への女性委員の登用についても推進していきたい。

土市民文化のシンボルとして、つくり物の常設展示場を設け、いつでも市民や観光客が見学できるように出来ないか。

下田経済部長 展示物の優秀作品を一年間程度どこかに展示できないかとのお尋ねですが、宇土の造りもんは、お店の商品や家庭用品を素材としたものが特徴であり、材料によってどれくらいの期間の展示が可能かどうか、また、出展者の意向などの課題もある。せっかくの作品であり、中心市街地活性化の目玉になりうる可能性も考えられるので、検討させていただきたい。





宇土駅東口広場を上空から

マニフェスト実践・実行で 元気な宇土市へ

マニフェストについて



(無所属)
九谷新吾 議員

九谷議員 先の市長選挙において、他候補のマニフェストも施策に反映すべきものがあるのではないかと。

元松市長 「人が集うまちづくり」を実現するため、市民の皆様の考えを十分に聞き、掲げたマニフェストを最良の施策にアレンジして実施していく。他候補のマニフェストの中で実施した方がよいものがあれば、参考にしながら市政運営に取り組みに行く。

九谷議員 マニフェストに掲げた全ての進捗と成果を表す情報公開について。

元松市長 進捗状況と成果については、市のホームページと広

報紙でわかりやすく情報提供していく。

九谷議員 広域連合が抱える課題とその対処について。

元松市長 旧富合町と旧城南町離脱による財政負担が生じるが、構成団体の財政負担を解消、緩和できるよう広域連合とも十分協議、調整を行い、対応策を考えていく。

九谷議員 疲弊・閉塞感・元気がない、どのような根拠・数字をもって発言されたのか。

元松市長 私は、多くの市民の皆様から、最近の宇土市は元気がない。と聞いた。このことは、3候補者共通の認識だったと思う。例えば、熊本市に隣接する自治体は人口増の傾向に対し、宇土市は交通の要衝でありながら人口減少傾向に転じていることなど。

世界に羽ばたく教育立市について

九谷議員 市長が掲げたマニフェストをどう教育立市プランに反映していくのか。

元松市長 学力と体力の重点的向上策、学校施設の充実対策など学校教育環境を計画的に整備する。地区公民館の整備は、花園公民館の改築に着手し他地区は、老朽化度合を調査し計画的に施設の改修を進める。国際交流事業については、そのあり方を検討する組織を立ち上げ、学校・保護者・国際交流事業の主役である子どもたちの意見を把握し、国際交流友の会や熊本県等の協力・支援のもと、国際交流事業に取り組む。



子育て支援課窓口

高い保育料では人は来ない。引き下げをする。子ども医療費の助成年齢を引き上げ負担軽減を図る。



(日本共産党)
福田慧一 議員

子育て支援策として保育料の引き下げ、子ども医療費の現物給付と対象年齢の引き上げを

を行うとしており、これに含んでいると認識している。財政的なこともあるが、高いと思われるような保育料では人は寄つて来ない。平成二十四年度を目途に引き下げをしたい。

子ども医療費の現物給付は、マニフェストにも掲げたことである。年齢の引き上げはマニフェストに入れない項目の一つであったが、国のこども手当の動向が不透明であったので、その動向を踏まえて引き上げをすべきと考えた。引き上げる方向では検討していく。

国保の保険税の見直しでなく、市民の健康対策に力を入れるべき

福田議員 国保問題について、市長は保険税の見直しは喫緊の課題であると述べられたが、市長選挙で国保税の値上げを公約

もしていないのにいきなり値上げを言うのはどういうことか。国保加入者は年金生活者や無職の人、派遣労働者など低所得者が多い。値上げすれば収納率も下がり、やつと払っている人も払えなくなり、財政は悪化する。現在の軽減策を続けながら、市民の健康対策に力を入れるべきではないか。

元松市長 市政方針で申し上げたのは、国保会計が三年連続で赤字であること。これは基金がなくなつてからの三年で、実際は七年連続赤字であることを考えると大きな課題であることを申し上げた。宇土市の経済がこれだけ冷えている中で、負担を強いることが適当かどうか。その前にやるべきことがあるというのを申し上げた。今やるべきこととして、医療費の削減につながることを増やす。特定健診の受診率向上対策、保健指導の充実、新たな検診メニューの追加などに、まずは力を入れていきたい。



宇土本町商店街

商店街活性化のため既存施設の拡充を

新規の出店予定大型店について



(新世紀クラブ)
杉本信一 議員

杉本議員 現在の出店予定大型店の状況について。

下田経済部長 大店立地法手続き完了店舗は1件である。次に前段の手続きである、熊本県に対し大型店の立地に関するガイドラインに基づく出店計画書の提出済み店舗が2件である。

杉本議員 大店立地法に照らし、生活環境面のチェックは完了できたのか。

下田経済部長 トライアル宇土店についてのみ最終の手続きとして、市の意見書を提出している。意見書の概要については、地元住民への理解、交通及び環境などの保全留意と住民への対応、設置の際の騒音、交通安全、環境保全などの推進である。

実効ある商店街対策について

十分時間をかけて対応を検討すべきである。

杉本議員 市の新たな対策は評価するが、本町二丁目のお地藏さん工房、すずり工房は、市内外から多くの受講希望者がいらつしやいます。施設が手狭であり、今後中心部の活性化につながるには施設の拡充が必要と思うが。

城之浦地区の活性化について

下田経済部長 既存施設の活性化は必要不可欠な事と考え、利用向上PR・施設の充実に努める。

空き店舗対策として、解体助成制度、農産物の直売所、休憩スペースの整備を検討している。また、現存の宇土市サイン計画は進捗中である。今年度より、市の観光資源等の広報PR活動を行う専任スタッフを配置し、活性化に努めることとしている。

杉本議員 新宇土駅に通じる重要な道路であるが、道路施設である街路灯の老朽化が著しい。早急な整備が必要と思うが。

下田経済部長 設置からかなりの年数が経過しており、老朽化が進んでいる箇所もある。また朝夕の駅利用者も多く、中心市街地の街路灯として整備は急務の事と考える。

総務市民

総務企画部・市民環境部・その他を所管



芥川幸子委員長

6月22日に経済建設委員会、23日に文教厚生委員会、24日に総務市民委員会を開催し、付託された議案等について審査を行いました。その主な内容は、次のとおりです。

論議された主なものを報告いたします。

まず、平成21年度一般会計補正予算で、自動車重量税と税などの地方譲与税が増額補正されているが、当初予算編成を行うとき、どのように積算をしているのかとの質疑に対し、執行部から、当初予算編成において、各種譲与税などの交付金は、総務省が作成する地方財政計画の地方財政指標を基に確実な歳入を見込み、予算編成を行っている。との答弁がありました。これに対し、委員から、市税をはじめ歳入の見込みにあたっては、限られた経営資源で最大の事業効果を発揮するためにも、予算編成の過程において徹底した精査を行ってほしいとの要望がありました。

次に、環境性能に優れた自動車に対する自動車重量税等の減税、いわゆるエコカー減税が行われているが、当然、その税収は減っていると思われる。また、市に対する地方譲与税にも影響があるのではないかと質疑に対し、執行部から、減税により減った相当額については、減収を補てん

する減収補てん特例交付金として交付される。との答弁がありました。

次に、新市長が掲げたマニフェストの中で、今回、新たに計上した予算や施策は何かあるのか。との質疑に対し、執行部から、総務課関係では、宇土市広報PRアドバイザーの募集、市長、副市長の給料の減額補正、市長交際費の減額補正を計上しております。との答弁がありました。また、委員会では、市長の給料の減額に対し、条例の内容、他自治体の首長の給料減額の状況などが論議されたところでありました。

次に、浄化槽設置整備事業補助金として1400万円ほど計上されているが、平成21年度の実績と補助の内容はどうか。との質疑に対し、執行部から、平成21年度では、5人槽で15件、7人槽で19件の補助申請があつていて、補助の内容容としては、国・県・市を合わせて、5人槽が33万2千円、7人槽が41万4千円で購入額の約3分の1の補助が受けられる。また、昨年度の補助総額は1280万円ほどである。との回答がありました。

以上が、論議された主な内容であります。本委員会に付託を受けました議案については、全会一致で原案のとおり承認及び可決致しました。また、平成21年陳情第4号改正国籍法に関する陳情書については、全会一致で採択と致しました。

経済建設

経済部・建築部・農業委員会を所管



堀内千秋委員長

論議された主なものを報告いたします。

まず、委員から、平成22年度一般会計補正予算で、口蹄疫関連の利子補給経費として、69万6千円が計上してあるが、補助金等はないのかとの質疑に対し、宇土市の単独事業として、石灰等の配付を行っていますとの答弁がありました。これに対し、畜産農家の方は非常に苦しんでおられるので、情報収集に努めるように要望しました。

次に、宇土市土地開発公社の経営状況報告の中で、委員から、現在の状況で公社存続の意味があるのか、いずれかの時点で市で全部行うべきではないか、との意見が出され、当委員会として、土地開発公社本来の業務も薄れてきており、廃止を含めた市との協議を行い、未利用地の1日も早い処分、また活用方法について検討するように要望しました。

また、議案以外の報告として、熊本市・富合町合併後における宇土都

市計画区域からの富合地区除外に関して、執行部から、現在の状況について説明がありましたので報告いたします。

この件につきましては、熊本市との間に熊本市宇土市都市計画区域検討連絡会議を設置し、協議を重ねております。

この中で、熊本市においては、区域再編の作業に早く着手することを約束され、5月25日に開催した第5回の連絡会議では、富合地区除外のためのデータ収集及びその調査結果がまとまったとの報告がありました。

6月17日には熊本市から、昨日(6月16日)、富合地区で合併特例区委員に対し、離脱に向けた調査分析結果を報告し、富合地区の熊本市計画区域編入の理解が得られた。これから、この方針に基づき、宇土都市計画からの離脱の要望を、県に行いたいとの連絡がありました。

また、今後においては、県において、富合地区離脱に向けた作業が始まるものと考えていますとの報告がありました。

以上が、論議された主な内容であります。本委員会に付託を受けました議案は全会一致で、原案のとおり承認及び可決致しました。

平成 22 年第 2 回宇土市議会定例会議決結果一覧

【市長提出議案】

番 号	件 名	議決の結果	付託委員会
第26号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第2号 平成21年度宇土市一般会計補正予算(第9号)について	原案承認	総務市民 文教厚生 経済建設
第27号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第3号 平成21年度宇土市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	〃	文教厚生
第28号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第5号 平成21年度宇土市一般会計補正予算(第10号)について	〃	総務市民 経済建設 文教厚生
第29号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第6号 平成21年度宇土市奨学基金特別会計補正予算(第4号)について	〃	文教厚生
第30号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第7号 平成21年度宇土市老人保健医療特別会計補正予算(第2号)について	〃	文教厚生
第31号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第8号 平成21年度宇土市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	〃	文教厚生
第32号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第9号 宇土市税条例の一部を改正する条例について	〃	総務市民
第33号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第10号 宇土市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	〃	総務市民
第34号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第11号 宇土市税特別措置条例の一部を改正する条例について	〃	総務市民
第35号	宇土市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	総務市民
第36号	宇土市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について	〃	総務市民
第37号	職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例について	〃	総務市民
第38号	宇土市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	〃	総務市民
第39号	宇土市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	〃	総務市民
第40号	宇土市長等の給料の特例に関する条例について	〃	総務市民
第41号	宇土市長等の退職手当の特例に関する条例について	〃	総務市民
第42号	宇土市父子手当支給条例を廃止する条例について	〃	文教厚生
第43号	宇土市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	〃	文教厚生
第44号	史跡宇土城跡保存整備検討委員会設置条例について	〃	文教厚生
第45号	あらたに生じた土地の確認について	〃	経済建設
第46号	字の区域の変更について	〃	経済建設
第47号	宇土市道路線の廃止について	〃	経済建設
第48号	宇土市道路線の認定について	〃	経済建設
第49号	宇土市立宇土小学校校舎・屋内運動場改築本体工事の変更請負契約の締結について	〃	文教厚生
第50号	熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	〃	文教厚生
第51号	平成22年度宇土市一般会計補正予算(第1号)について	〃	総務市民 経済建設 文教厚生
第52号	平成22年度宇土市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について	〃	経済建設
第53号	平成22年度宇土市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	〃	経済建設
第54号	平成22年度宇土市漁業集落排水施設整備事業特別会計補正予算(第1号)について	〃	経済建設
第55号	平成22年度宇土市水道事業会計補正予算(第1号)について	〃	経済建設
第56号	宇土市固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意	
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	原案答申	
第57号	宇土市副市長の選任について	原案同意	

文教厚生

健康福祉部・教育委員会を所管



村田宣雄委員長

論議された主なものを報告いたします。
まず、老人クラブ補助金に30人未満のクラブを対象に新たに助成したいと説明があったが、どういう理由かとの質疑に対して、執行部から、これまでは、国の補助基準である1クラブ30人以上の登録要件を下回ると、クラブ登録ができず、老人クラブ連合会主催のグラウンドゴルフ大会などに参加できず解散になっていた状況で、単位老人クラブ数が減少傾向にあり、市として高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加のため、30人未満のクラブでも活動が続けられているように市単独で助成を行い、連合会規約等を見直していただき、クラブ数や会員減少の抑制を図るものです。との答弁がありました。

次に、委員から後期高齢者医療広域連合議会の議員には、これまで市長会・町村会・市議会・町村議会から8名ずつ32名の議員構成で、バランスよくそれぞれの立場から意見が言えた。市町村から首長又は議員から1人ずつになれば、それぞれの立場からの意見が反映されない。との意見がありました。
次に、委員から保育料の現年・過年の滞納者数は何人か。また、市外の保育園に通っている家庭は、宇土市に入れないからか、保護者の都合か、分析をするように要望がありました。

次に、花園公民館の調査・設計委託料として1,000万円が計上されているが、経費の内訳はどのようになっているのかとの質疑に対し、執行部から、基本設計も含めこれから着手するわけですが、現時点では、調査経費といたしましては、既存建物の耐震診断調査、建築する建物の構造によっては、ボーリング調査・地質調査等が必要になってきます。調査経費として330万円、設計委託料として670万円を予定しており、公民館には学童クラブの利用も考慮に入れて検討を進めたいとの答弁がありました。
なお、委員からは花園公民館以外の中央公民館を含めた他の地区公民館についても耐震調査等を含めた調査を進め、建て替えや補修等を進めてほしいとの要望がありました。
次に、給食センターでは米の精米と輸送、炊飯までを契約しているが、炊飯業務については宇土の業者と再委託をしている。精米をする業者の方は宇土市にいればいられるので、宇土市の業者の方が精米出来るような流通の仕組みを考えるべきではないかと指摘がありました。

以上が、論議された主な内容であります。本委員会に付託を受けました議案第50号は賛成多数で、議案第26号、27号、28号、29号、30号、31号、42号、43号、44号、49号、51号は全会一致で原案のとおり承認及び可決いたしました。
次に、陳情につきましてご報告申し上げます。平成22年陳情第1号「子供手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情書」については、全会一致で継続審査といたしました。

地域高規格道路促進等対策特別委員会



岩本廣海委員長

6月16日、執行部出席のもと本特別委員会を開催し、現在までの取り組み状況および国土交通省熊本河川国道事務所との協議内容について、執行部から説明がありましたのでご報告申し上げます。
まず、「熊本・宇土道路」の用地取得の状況については、宇土市側は面積ベースでの取得面積比率は98.2%、地権者ベースでの購入済者比率は89.3%で、いずれも前回報告以降の進捗はない。また、熊本市側も面積ベース、地権者ベースともにその後の進捗はない。との説明がありました。

予算及び工事の状況については、前年度の繰越事業は、3件の工事が6月15日までに完了し、追加工事として、国道57号線からの工事車両の進入道路工事と市道の2基のボックス工事、それに伴う基礎地盤改良工事と試験盛土が行われており、今年度中に完了予定である。また、平成22年度の当初予算額は11億円で、その内訳は、工事費が約6億7千万円、用地取得費及びその他が約4億3千万円となっており、6件の工事と軟弱地盤対策設計業務が計画されている。

なお、緑川大橋の橋梁実施設計はすでに完了し、関係者との河川協議も平成22年度中には完了予定で進められている、との説明がありました。

最後に今後の取り組みといたしまして、例年どおり、熊本県、国土交通省、地元選出の国会議員に対しまして、1日も早い熊本・天草幹線道路の全線開通を強く要望してまいりたいと思います。

なお、この要望活動につきましては、網田地区の地域高規格道路整備促進期成会と、昨年、網津地区で立ち上げられたし割井川インター設置整備促進期成会とも連携をして要望活動を行いたいと考えております。

【議員提出議案】

番 号	件 名	議決の結果
発 議 第2号	改正国籍法に関する意見書	原案可決

【報告】

報告番号	件 名
第4号	平成21年度宇土市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
第5号	平成21年度宇土市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について
第6号	平成21年度宇土市漁業集落排水施設整備事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について
第7号	宇土市土地開発公社の経営状況の報告について
第8号	専決処分の報告について 専決第4号 損害賠償額の決定について
第9号	専決処分の報告について 専決第12号 損害賠償額の決定について

【請願・陳情】

	受理番号	請 願 ・ 陳 情 の 件 名	付託委員会	議決結果
継続審査に なっている陳情	平成 21 年 4	改正国籍法に関する陳情書	総務市民	採択
陳情	平成 22 年 1	子供手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情書	文教厚生	継続審査

編 集 後 記

今年の梅雨も7月18日によく明けました。梅雨といえはじめじめと降るイメージでしたが、近年は毎日のように大雨警報や土砂災害警報が出るなどとんでもない降り方をします。幸い宇土市においては大きな災害はなかったようですが、九州の南部・北部・西日本では大変な被害になったようです。

梅雨は明けましたが今度は酷暑が続いておりますので、体調には十分注意し、熱中症等病気にならないようにして下さい。



編集委員

◆後列：堀内千秋委員（経済建設委員長） 村田宣雄委員（文教厚生委員長）

◆前列：芥川幸子副委員長（総務市民委員長） 北村静剛委員長（議会運営委員長）

平成22年
第3回定例会会期日程(16日間)

8月25日	開会
26日	特別委員会
27・30・31日	質疑・一般質問
9月1日	総務市民委員会
2日	経済建設委員会
3日	文教厚生委員会
9日	閉会

市議会からのお知らせ

市のホームページで、本会議の会議録を公開しております。

公開内容は、本会議（定例会・臨時会）の会議録です。

【アドレス】

<http://www.city.uto.kumamoto.jp>

【お問い合わせ】

0964-22-1111 内線 2611

本会議の会議録（冊子）は、市情報公開コーナー（市役所1階ロビー）、市立図書館で閲覧できます。

なお、平成22年第2回定例会の会議録は、次回、第3回定例会以降、閲覧可能です。

◎生中継（ライブ放送）

議会開会中、本会議（定例会・臨時会）の様態を生中継で市役所1階ロビー・網津支所・網田支所に設置されているテレビモニターでご覧になれます。



環境保護印刷の
水なし印刷で
印刷しています。 印刷/敷島印刷株式会社